

令和2年度 障がい者委託訓練カリキュラム

訓練科目名	介護職員初任者養成研修科 (精神障がい者対象)(3か月)		訓練 区分	知識・技能習得訓練 (集合訓練)
訓練期間(年間定員)	3か月 (10名)			
訓練受講生の条件	特になし			
訓練目標	介護職員初任者研修課程の修了を目的とし、社会人としてのマナーや介護に従事する者としての心構えを始め、より実践的な知識・技能を習得する。			
仕上がり像	介護技術については、座学での知識習得を基に実践に即した確実な技術を習得するとともに、福祉施設の現状を理解し介護者としてどのような心構えで介護すべきかを常に考える人材。			
		科 目	科 目 の 内 容	時 間
訓 練 内 容	講能職 座力業	基礎的なビジネスマナー講座	働くことの意義、社会人としての基本ルール、基礎的なビジネスマナー	18
		安全衛生	介護現場における安全衛生、感染症の理解と対応、健康管理	171
	職務の理解 ※実習に変更可	①多様なサービスの理解②介護職の仕事内容や働く現場の理解		
	介護における尊厳の保持・自立支援	①人権と尊厳を支える介護②自立に向けた介護③人権啓発に係る基礎知識		
	介護の基本	①介護職の役割、専門性と多職種との連携②介護職の職業倫理③介護における安全の確保とリスクマネジメント④介護職の安全		
	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	①介護保険制度②医療との連携とリハビリテーション③障がい者総合支援制度およびその他の制度		
	介護におけるコミュニケーション技術	①介護におけるコミュニケーション②介護におけるチームのコミュニケーション		
	老化の理解	①老化に伴うこころとからだの変化と日常②高齢者と健康		
	認知症の理解	①認知症を取り巻く状況②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活④家族への支援		
	障がいの理解	①障がい者の基礎知識②障がい者の医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識		
	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本的知識の学習②生活支援技術の講義・演習③介護過程④総合生活支援技術演習		
	振り返り ※実習に変更可	①振り返り②就業への備えと研修終了後における実例		
	修了評価	全科目修了後確認試験		
	福祉レクリエーション	介護施設やデイサービスで実践できるレクリエーション		
	手話	聴覚障がい者の理解、援助に関する知識、手話		
	介護口腔ケア	口腔ケアの基礎知識		
普通救命講習(I)	緊急時の対応、心肺蘇生法、AEDの使用法			
実技	こころとからだのしくみと生活支援技術	①基本的知識の学習②生活支援技術の講義・演習③介護過程④総合生活支援技術演習	54	
	職場体験	高齢者施設の介護現場を体験		
就職支援	就職支援	社会人基礎力、コミュニケーション能力、職業人講話、履歴書・職務経歴書作成、面接指導	34	
	就職相談	就職相談、訓練終了後の就職相談		
	職場実習の振り返り	職場実習を振り返り自己の強み・弱みを分析。職場実習で得た経験スキルを再確認。		
職場実習	職場実習	実際に施設内で介護業務を体験	42	
訓練時間総合計				319時間
職業能力講座 18時間	学 科 171時間	実 技 54時間	就職支援 34時間	職場実習 42時間
訓練休講曜日	原則として 土・日・祝日			

※ 上記訓練時間の内訳は標準時間であり、訓練の実施に際し、受講生の障がい特性、状況、能力等に合わせて変更することがあります。